

レジメンとは？

抗がん剤を実際投与する場合の計画書をレジメンと呼んでいます。各抗がん剤の特性に合わせて薬を溶かしたり希釈したりする溶液の組成や量、投与速度、投与順などが決められ、時系列で計画書が作られます。吐き気などの副作用対策に使用する薬剤や抗がん剤投与後の休薬期間なども計画書内に盛り込まれます。看護師さんがこんな用紙を見ながら作業しているのに気づくこともあるかと思いますが、レジメン通りに治療が行われているか確認しているわけです。

レジメンはなぜ必要？

レジメンを作成する目的は複数ありますが、最も重要な点はレジメンに従って化学療法を行うことで、医療事故を未然に防ぐことです。レジメン作成とその管理システムを構築することで、抗がん剤の過剰投与やヒューマンエラーによる医療事故を防ぐ効果があります。

レジメン審査って？

上記のように医療安全上重要なシステムなので、化学療法を計画する医師が自由にレジメンを作成することはできません。使用する抗がん剤の科学的妥当性をはじめ、治療の安全性、薬剤の相互作用などを複数の職種（医師、薬剤師、看護師など）によるチームで審査して、審査に合格したレジメンのみが実際に運用されています。



点滴①

○○○

▽▽▽

△△mg/□□ml

××mg/☆☆ml

・

・

計 ◎◎ml
投与時間◆◆◆分

点滴②

・

・

・